

令和6年度 シラバス

学年	教科	教材
1年	理科	・教科書 未来へひろがるサイエンス（啓林館） ・副教材 理科の学習1（浜島書店） カラーブック理科資料（東京法令出版）

1. 学習の目標

- ・身近な植物や動物についての観察・実験を通して、生物の調べ方の基礎を学習するとともに、植物・動物の体のつくりやそのはたらきを理解させ、植物・動物の世界についての総合的な認識を深める。
- ・実物観察で見たものは、地球史の中で絶えず変化している大地の一瞬の姿であることを実感させ地球は今も活きているダイナミックな星であることを認識させる。
- ・身のまわりのさまざまな物質に興味・関心をもたせ、物質のもつ基礎的・基本的な性質を理解させるとともに、物質を区別するための実験における基本的操作や技能を身に付けさせる。
- ・身近で起こる光・音・力によるさまざまな現象を、観察や実験によって解決していくプロセスを通して、これらの性質や規則性について理解させる。

2. 学習の方法

- ・実験・観察を行い、その結果から考察を深め、目的とする学習内容の理解を深めていくような学習を行うため、実験・観察の結果から重要事項の理解へつながる過程を重視してほしい。
- ・科学に関する基本的な知識や法則等、演習を通して習熟してほしい。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト・小テストなど
思考・判断・表現	定期テスト・実験レポートなど
主体的に学習に取り組む態度	授業の取り組み方・提出物・プリント・小テストなど

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	自然の中にあふれる生命	身のまわりの生物の観察	身近にある環境に目を向け、今まで見えていなかった生命に営みに気づくことができる。
		生物のなかま分けのしかた	
5	いろいろな生物とその共通点	1章 植物の特徴と分類	植物がもつ、生きるためのさまざまな工夫に気づかせ、植物の不思議に目を向けさせる。植物が地球上の生命を支えていることや、植物が動物と異なるしくみをもつ生物であることなどについて話し合わせ、植物についての興味・関心をもつことができる。
6		2章 動物の特徴と分類	生物が生きていくために必要なことに気づかせ、その中でも動物の体のつくりについて学習していく。動物の体のつくりから動物のグループ分けができるようになる。
7		1章 いろいろな物質とその性質	身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べ、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだすとともに、実験器具の操作、記録のしかたの技能を身につけさせる。

9	身のまわりの物質	2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質	気体の発生させてその性質を調べる実験を行い、気体固有の特性を見いだすことができる。また、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果と溶解度を関連づけて理解することができる。
10		4章 物質のすがたとその変化	物質の状態変化について実験を行い、状態変化による体積や質量の変化に気づくことができる。また、融点や沸点の違いによって物質を分離することができる。
11	光・音・力による現象	1章 光による現象 2章 音による現象	光の反射や屈折の実験を行い、規則性に気づくことができる。凸レンズのはたらきについて実験を行い、像の規則性に気づくことができる。また、音の実験を行い、音の大きさや高さは発音体の振動のしかたに関係していることを知る。
12		3章 力による現象	物体に力をはたらかせる実験を行い、力のはたらく規則性を知る。また、圧力（水圧・大気圧）について面積が関係していることに気づく。
1	活きている地球	1章 身近な大地	大地の変化がどのようにして生じたのかを話し合い、身近にある大地の歴史を考えるようになる。
2		2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地	地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解するとともに、プレートの動きと関連づけることができるようになる。また、火山の噴火にはマグマの性質が関係していることに気づくことができる。
3		4章 語る大地	地層のでき方や重なり方の規則性を捉え、地層ができた環境など推測できるようになる。これから地球がどう変化していくか考えることができるようになる。